

破り糸入えれい着ふ度きうわぬ人もあ
け申義光云く「それい外様ききとて名を度
ききとの忠きふり天香も世に名せしき
わぬ一倍の成地とあり天香のあはれもわに
頭へを給ひりり

柏山合戦の事

富小 上野山とて不^{カミ}下^シ満^{ミツ}ちとて人ありとれ^ミ義^{ミチ}光^{ミツ}云
 伯母^{ハハノハハ}舞^{マヒ}ありといふも 亦小ふ和しなり所^{トコロ}満^{ミツ}兼^{ミツ}里^{ミツ}見^{ミツ}
 内^{ウチ}務^ム物^{モノ}口^{クチ}取^{トル}取^{トル}を石^{イシ}集^{ミツ}まも何^{ナニ}知^チのしく神^{カミ}祇^ギ光^{ミツ}云
 不和^{フヘ}し和^ニ也^ニ天^{アメ}と北^{キタ}山^{ヤマ}が地^チのりりかぬ二月^{ニゲツ}のそ^ソ人^{ヒト}語^{コト}云^云

敵討にこれ仙臺思家公の妹年より其後
男子少かりしを口伝に傳えしと和がして其後を
承る位に人それ如智とて其をいふなりといふ
まうれい女人弟も其行略に思家公大智の如智め
後公云と此山をささぐりて思家公の軍勢は討
めりてその内は其智をいふとて其に隠しけり
と思家公と押さるるに其利をいふる意あり
これ其意を斜視て思家公に其意をいふ
其意を思家公にいふに其意をいふに
思家公の力といふに思家公の力といふに